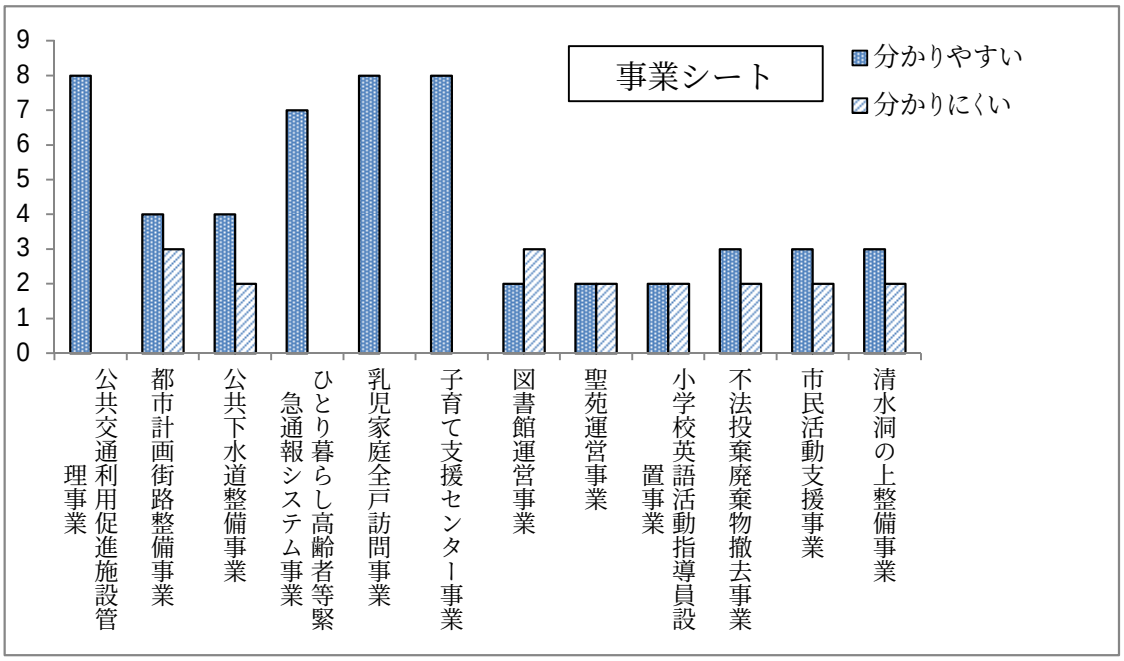
平成２５年度那珂市事業仕分け
市民判定人アンケート集計結果

実施時期　　平成２５年１０月５日～１０月１１日
実施方法　　事業仕分け当日に配布し、郵送により回答

対象者数　　22 人
回答者数　　14 人
回答率　　63.6 %

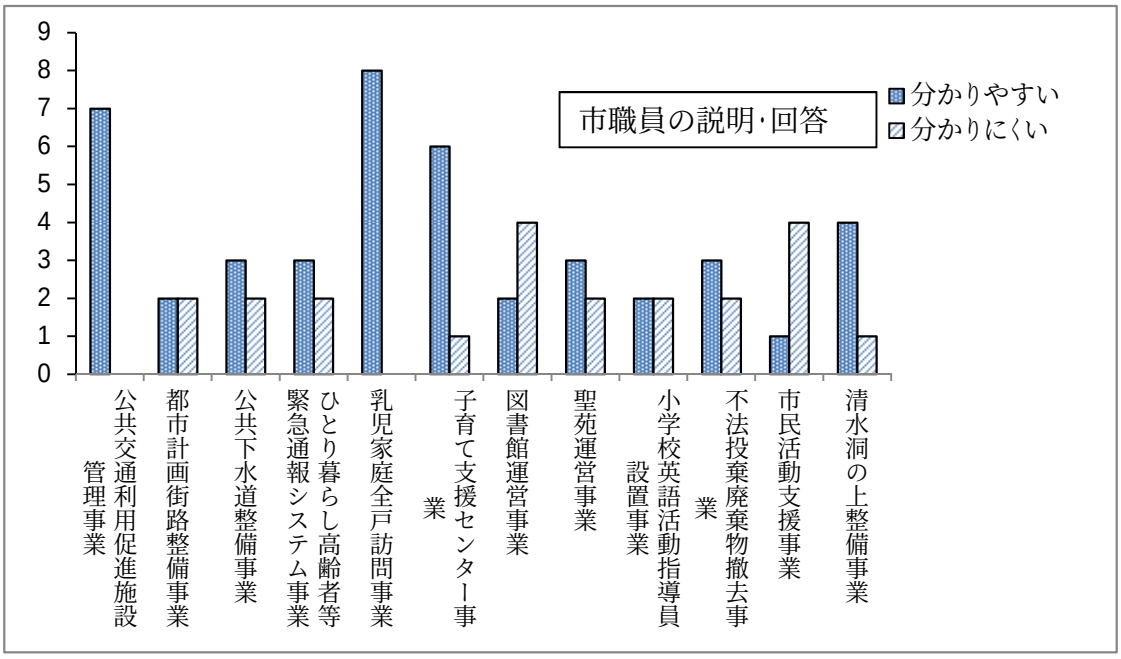
１　事業シートは分かりやすかったですか

事業名	分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
公共交通利用促進施設管理事業	8	0	0	8
都市計画街路整備事業	4	3	1	8
公共下水道整備事業	4	2	2	8
ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	7	0	0	7
乳児家庭全戸訪問事業	8	0	0	8
子育て支援センター事業	8	0	0	8
図書館運営事業	2	3	2	7
聖苑運営事業	2	2	3	7
小学校英語活動指導員設置事業	2	2	3	7
不法投棄廃棄物撤去事業	3	2	2	7
市民活動支援事業	3	2	2	7
清水洞の上整備事業	3	2	2	7



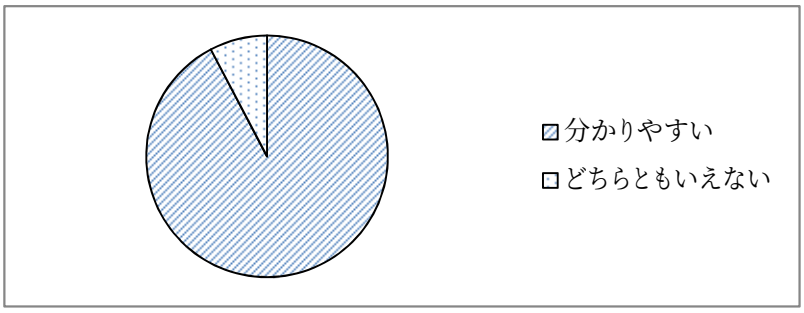
2　市職員の説明・回答は分かりやすかったですか

事業名	分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
公共交通利用促進施設管理事業	7	0	1	8
都市計画街路整備事業	2	2	4	8
公共下水道整備事業	3	2	3	8
ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業	3	2	3	8
乳児家庭全戸訪問事業	8	0	0	8
子育て支援センター事業	6	1	1	8
図書館運営事業	2	4	0	6
聖苑運営事業	3	2	1	6
小学校英語活動指導員設置事業	2	2	2	6
不法投棄廃棄物撤去事業	3	2	1	6
市民活動支援事業	1	4	1	6
清水洞の上整備事業	4	1	1	6



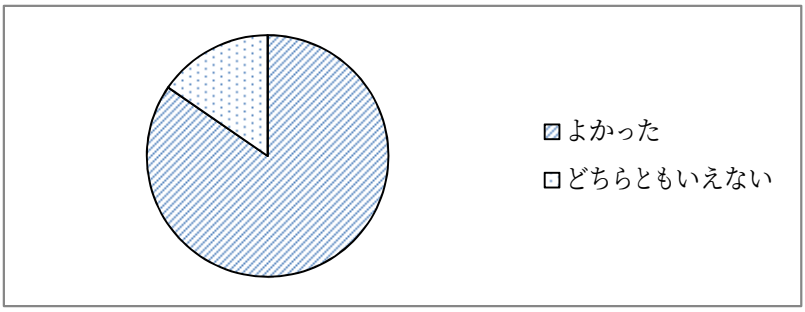
3　仕分け人の質問は分かりやすかったですか

分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	回答数
12	0	1	13



4　市民判定人が事業を判定することについて、どのように感じましたか

よかった	よくなかった	どちらともいえない	回答数
11	0	2	13



（理由・自由記述欄）

１　事前配布した資料（事業シート）は分かりやすかったですか。

- 事業シートで実施の背景、目的、内容、事業効果等」、大変わかりやすく記入されていた。

- ・実施の背景や目的の記載は「・」「○」などで箇条書きが見やすい。
  ・（事業概要）事業内容は事業費の大きい順に書いてあると見やすい。
  ・（コスト）事業費内訳も額の大きい順で、できれば、比較しやすいように項目と金額が縦に揃うとよいと思う。
  ・施策シートの目指す成果は吟味してほしい。Ｐ８１（※事務局注＝小学校英語活動指導員設置事業）は事業に関係ない成果指標名や値が書いてあったので、ほとんど関係ない指標が書いてあった。この仕分けのために、どこからから引き出してきたようだが、事業に対する責任を感じられなかった。

- 専門的すぎたし、比較も参考が少なかった。

- 都市計画街路整備や公共下水道は現実もう進んでいて、現在の事業を仕分けるのはどう考えていいか考えてしまった。資料を読んだときはわかった気になっていたが、仕分け人の質問に答えられないところが多かった。問題そのものが難しかった。

- 追加資料があって理解できるようになりました。

- 資料は大変だったと思いますが、読むほうも大変でした。わかりやすかった。

- 数表を見慣れない。

- 資料はとてもわかりやすく作られていると思いますが、全体的にもう少し文字を大きくしてあると、もっと見やすかったと思います。

- 事業シートを初めて見ます。事業にいくらかかっているのかはわかりますが、それが、適当な費用なのかどうかはわかりません。

２　担当課（説明者・職員）の説明や回答は分かりやすかったですか。

- 緊急通報システムの検証を。あまりにも長い期間（平成４年より）行っていなかったことは大変残念です。

- 各課（主管）とも、勉強研究跡が見られ、大変よかった。

- ・仕分け人の質問に対し、的外れの回答があった。何回も聞かれていたのは残念だった。仕分け人の質問内容を理解できない人がいた。
  ・資料の数値に対するつめの甘さ、仕事内容への認識の低さ等が感じられ、明快な歯切れのよい回答がほしいと思った。
  ・説明責任を負えるような職員になってほしい。

- 仕分け人の質問に対して、見当違いの回答があり、その部分に対しての答えは分からなかった。

- 回答に詰まってしまう件が多々あった。

- 想定質問の準備不足が見られた。回答については、複数担当で項目別に担当すれば準備が深まるのではないか。

- 仕分け人さんたちが質問されるだろうというところを、もう少し研究したほうが良いかもしれません。下準備をしているのは分かりますが。乳児家庭全戸訪問は完璧だったと思います。

- （小学校英語）文科省からおりて来た課題を事業化しようとする行政課と、自分の視点（国際化教育に英語教育より優先すべきものがある）とのずれから、自分が聞きたい事項の説明がなかった。
  （市民活動）生活の中で近辺に市民活動を実感できていないので、説明が日常とは離れた次元のものに聞こえた。

- 単刀直入に申し上げるならば、課長の、仕分け人からの質疑応答には大変不満でありました。時間的に余裕があったと思いますので、事前のレクチャーを積んでおくことを切望いたします。課長補佐・グループ長をもっと活用して発言をさせたほうがよかったと思います。

- 「乳児家庭全戸訪問事業」の説明はとてもわかりやすく、仕分け人の質問にも的確な受け答えをされていました。現物提出の「子どもファイル」は一目瞭然の資料になっていたと思います。

- まず、回答と質問が食い違っているのが、多く見受けられました。これは、一般素人がみてもわかるものでした。仕分け人も役所担当者も、休日でもあり、特別給与をもらっていると思います。役人は公僕であり、市民に仕える立場でありますが、チンプンカンプンな答えをして、時間＝税金＝給料をムダにして欲しくは有りません。それこそ、”なぜムダな説明をするのか”、仕分けが必要です。小学英語、不法投棄では、担当者内部の意思疎通がとれていませんでした。仕分けは事業のためではありません。お役人のスキルアップのためです。事業が仕分けされようと、されまいと、そんなことは重要ではありません。事前準備は大変だったでしょう。想定問答を作っている方もいました。こんな面倒なことするぐらいだったら、そもそも事業なんかや

めてしまったほうがいい、と思われたかもしれません。でも、違うんですよね。海野市長！！

３　仕分け人の質問は分かりやすかったですか

【分かりやすかった】

- 行政について熟知しており、矛盾点や不明な点、費用対効果への意識追及等をしていて、大変わかりやすかった。さすがプロだと思った。

- 市役所の説明に対して、くだいて説明してくれましたし、多角的視点もわかりやすかったです。

- 造形の深い、そして厳しい質問であった。

- 市民が気が付かないことも質問してくれるので、これから市役所の事業にも目が向くようになると思う。

- 当を得た質問が多かった。

- 仕分け人のかたは事前に事業シート等の資料を精査しているのはもちろんのことですが、現場のほうも事前に見たうえで当日に臨んでいたようでした。ですから、それを踏まえたうえでの質問はかなり要点を得ていたと思います。判定人にもわかりやすいようにとの配慮のある質問のしかたで、言わんとするところが良くわかりました。特に女性の仕分け人の方（※事務局注＝小瀬村）にそれが見受けられ、加えて積極性がテンポを良くしていたと思います。この趣旨の質問とは関係ありませんが、５分の休憩時間にも気さくに判定人に話しかける態度は感じよく、また帰り際にも丁寧にあいさつしてくださいました。

- さすが、鋭いところを突っ込んできます。それに対して、担当者の的外れな回答が目につきます。

【どちらともいえない】

- 民生委員の立場から申しますと、「ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム事業」についての質問内容事項について、一瞬びっくりと同時に疑問に感じました。専門分野の事務体験者として、仕分け人に他市町村の民生児童委員の仕分け人があってもよいかと思いました。不要・凍結の３人は私には納得できません。

４　「市民判定人」が事業を判定することについて、どのように感じましたか

【よかった】

- 参考資料としては必要だと思う。

- 判定をするために、集中して真剣に聴いた。

- 行政への参加意識を高めることができたから。

- 一緒に参加できてよかったです。最初は不安でしたが、なれてくるうちに理解し、その場にいられたことは、いい経験になりました。

- 過去の仕事の検証・未来の仕事の改善

- 那珂市の行政により一層の親近感を持ち、市民として協力できることは協力していきたい。

- 判定人となる機会は行政から与えられて初めて得られるものであり、それは行政の各事業について詳しく知ることができる機会でもあるので、判定にとして事業仕分けに参加することは大きな意義があると思います。また行政を理解するうえでも大事なことと感じました。今回判定人を経験してみて、もっと多くの市民に同じ経験をしてもらいたいと思いました。

- 公にしているし、パフォーマンスでないというところが良い。参加する意義があった。十年以上も昔、茨城県主催の青年懇話会に参加したことがあります。あれは単なるパフォーマンスだった。今は、生の映像で誰がどんな発言をしているのか、自宅で見られる、よくも悪くもすごい時代。

【どちらともいえない】

- 市民判定人の一人ひとり個性があり、できれば多角的視点を持っているかたが全員だとよいが、意見を聞いて筋違いのことを聞くと、判定人としてどうかと感じる方もいた。

- 事業内容の仕分け人とコーディネーターの意見の内容によっては、論点が論証されずに再度会議を設定しなおしたほうが良い場合がある。講習会の教材（※事務局注＝市税前納報奨事業）がそうだった。しかも講師（今回のコーディネーター（※事務局注＝伊藤）は分かりやすい事例と言っていた。論証のない意見で、傾向的な場合、「市民判定人方式」にはなじまない。

５　市民判定人に応募した理由を差支えない範囲でご記入願います

- 那珂市政についてわからないことが多いので、より詳しく理解したかった。

- 那珂市の事業がどのようになって、そこに税金がどうなっているのか勉強したく、応募いたしました。大変参考になりました。

- ・行政に関心があり、本市の職員がプロの仕分け人にどれだけ対応ができるか見てみたかった。
  ・ＴＶでの仕分けの様子をみて、本市のやり方を見てみたかった。
  ・どのような項目が仕分けの対象になるか知りたかった。

- これからは、工夫をして事業を展開していかないと、国も地方自治体も継続していくことは困難と感じるようになり、一市民としてともに考えていかなくてはいけないと感じ、応募させていただいた。

- 市民判定人ってなんだろうと興味があって参加させていただきました。テレビで事業仕分けを見て好奇心もありました。

- ・職員の事業の取組み姿勢をみたかった。
  ・事業仕分けそのものを知りたかった。

- 市のほうから何回か市政についてアンケートに回答していたら、事業仕分けの市民判定人の応募の募集があり、選出されるとは思わなかったが、一度どんなものかと軽い気持ちでしたが、選ばれてやってみて、関心を持つようになり、次回は傍聴席で聴いてみたいと思います。

- 税金がどこにどのように使われているのか興味がありました。市民の中から選ばれたことをうれしく思いました。でも、私は何の準備もせず、他の皆さんは下調べに現地に行ったりしたことを聞き、その熱心さにおどろきました。

- 病後の社会復帰のリハビリの一環として。

- 定年後の暮らし、第二の人生は市民のために。

- まさに青天の霹靂。まさか自分がと喜んで応募いたしました。終生の思い出になりました。

- 最初は応募する気はなかったのですが、昨年、人づてに事業仕分けのことを聞いていたこともあり、また、それが身近な話題となっていたことを思い出し、内容を自分でも確かめたいと思ったからです。人の話だけでは実際のところわからないだろうと思いました。

- 頼まれたら、やってみる。つまらなければ、いつでも辞められる。金をもらっていたら簡単に辞められない。

６　来年度の事業仕分けにあたり、お気づきの点があればご記入願います

- 大変参考になりました。いかなる仕事でも切磋琢磨しながら、現状のままでよいのかを、日々自問自答していくことの大切さを気づかされました。欲を言えば、担当職員が受け身になるばかりでなく、仕分け人と積極的に討論できるようになることが望まれます。最後に、今回のプロジェクトに関して、市長はじめ関係職員のご努力に感謝します。

- 仕分け人の厳しい質問があったけれど、仕分け人もよく研究させていると思います。内容について検討され、改善すべき点は改善し、工夫していただければよいと思います。

- ・事業仕分けの費用対効果はどうなのか。１２人のプロの仕分け人に支払う金額（宿泊代・交通費も含めて）や資料代等、かなり高額になるのではと思った。
  ・事業仕分けの１つの図書館が閉館していて見学できなかった（１０／１～４が休み）。
  ・事業仕分けをすることは、とてもよいと思う。担当者が意識をもって仕事ができるし、仕事内容を吟味して見直すことができる。
  ・他市町村の比較表は提示しているが、比較して検討したうえでの事業へのコメントが足りない。形だけ出しているように思う。
  ・事業仕分けに参加させてもらって、大変勉強になりました。また、ご準備等本当に大変だったと思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。

- 本当にこういう機会は良いことと考えますし、今後も継続してほしいです。

- 今まで市行政にあまり関心が持てなかったが、入口を見たように感じた。今日の事業についても、出席前はすべて大賛成、すばらしい事業だと思っていたが、将来を見据えた継続できる事業にするよう考え直す必要があることが理解できた。仕分け人のかたのいろいろな角度からの質問に気づかされること、税金の使い方、たくさん学ばせていただきました。参加できる機会があってとても良かったです。どうもありがとうございました。

- ・仕分け人の指摘やアドバイスを業務に反映していただきたい。
  ・判定人の質問や意見の時間がもっと長く欲しかった。

- 質問されて、市の職員のかたが用意不足の感もあったと思います。その反面、ちゃんと説明できている事業もあり、感心しました。その方々は常日頃より研修していると思います。

- 　図書館とか清水洞の上整備事業とかにあんなにたくさんのお金がかかっているとは思いませんでした。私は図書館を１度も使用したことがなかったので、これからは使用したいと思います。
  　聖苑運営事業は従来通りでいいと思いました。

小学校英語活動指導員設置事業は、英語は必ず必要ですので、先生を増やしてもいい位に思います。今は幼稚園でも英語を取り入れているところもあります。

- 事業をセットする「構想日本」の方向性が、仕分け人の選定、ひいては仕分けの判定に影響するのではないか。顕著に傾向的であれば、それはたとえ目的が崇高であっても、手段とし不適切である。

- ・事業のＰＲが必要
  ・イベント性が低いのでは
  ・高齢者も応分の負担の必要性を感じる。

- 開かれた行政のあり方として、大変喜ばしく思います。また一方では、事業仕分けに係る経費は、仕分けしないのかという一部の声もありますが、今後も継続して市政運営の更なる効果に期待しております。

- 会場の仕分け方についてですが、できれば事業内容で興味のある方に参加したかったと思いました。その点で少し残念でした。それから、評価シートを書く時間が短く、意見を書く欄に手間取りました。余談ですが、公共下水道事業の案件で考え直したことがありました。浄化槽を使用の人が下水道になった時には二重の負担がかかるのでは、との旨のことを書いたのですが、そのあとで、その当事者に聞いてみたところ、どんなに負担がかかっても下水道になることを望んでいると言いました。誰も快適な生活を望んでいるのだと改めて分かった思いでした。ちなみに私は２０年くらい前から下水道の恩恵にあずかっており、そのため、その快適な暮らしがわからず、浄化槽の不便さもわからないまま意見提出してしまったことを恥ずかしく思いました。やはり何事も公共的なものは平等でなければと気づかされました。また、事業仕分けは長い１日になるかと思っていましたが、あっという間に終わってしまいました。それだけ中身が充実していたのだと思います。

- ・研修会に参加できず、申し訳ありません。後から送られてきた DVD 音声は、声が部屋を反響して聞き辛かった。DVD を見るのは、ほんのひとり、ふたりなんでしょうが、改善してください。今はピンマイクをつければ、ワイヤレスで音声録音できます。
  ・今回は、市民が利用するわかりやすい事業（図書館、斎場、他）が選ばれていますが、もっと重要、重大な事業があると思います。市民判定人には難しすぎるという判断もごもっともだと思います。
  ・行政に積極的に関わろうとした市民判定人の方々。この人たちの縁をこれっきりにするのはもったいない。今後、何かで繋がります。
  ・昼食中、役人担当者はいませんでした。はじめはひっそりと弁当だけを食べてました。そのうち、瓜連から来た、囲碁をやってる、という話になり、そこならば誰々さんを知っているとか、孫は誰々に習ってるとか、いろんな話になりました。
  ・蓮舫さんという有名な仕分け人と仕分けをしたという実績もうれしいですが、地元でがんばっている人たちと仕分けができることもうれしいことだと

思います。
・市民判定人のレポートを広報に掲載してください。書きたい人はいくらでもいると思います。
・その事業に関わる役人の人件費は入っていたのでしょうか？　その事業を行うにあたっての調査、会議、資料作り等々。

７　那珂市の行政に関してご意見があれば、ご自由にお書きください

- 仕分けが１０月５日に実施されましたが、傍聴人の数が非常に少なかった。これは、事業の広報が問題であり、各戸に防災無線が設置されているのですから、これらを通し、１週間くらい連続して流してもらいたかった。市の税金から、これだけ、あるいは、こんな事業に使われていること等、市民は知る権利があると思う。実施されたのが知らない人は多い。全般的に那珂市は事業の広報が少ない！

- ・税金が事業によっていい加減に使われているし、大事に使われていることが少しずつわかってきた。効果があるような使い方をしてほしい。
・職員の事業への認識を高めてほしい。所長・部長はもちろん、課長になるくらいの人は、那珂市の各部署の仕事内容を熟知してほしい。若いうちから意識をもって仕事をしてほしい。市役所の職員はいろいろな部署を回るわけだから、４月に就任したばかりだという言い訳は通用しない。今までのことは分からないとは言えない。私たち市民でさえも、市報を見て行政のことをだいたいわかっているのだから。
・仕事をするときの、疑問への追及、他市との比較検討後の決定理由、今までの経緯、いかにコストを安くできるかの方法など、徹底してやってほしい。
・那珂市の税金は他市町村より高い→安くするような検討。
・菅谷地区はいろいろ整備されているが、周辺の道路は水たまりが多い。那珂市全域への税金投入をお願いします。
・これからも、那珂市民のよりよい生活をめざして、よろしくお願いいたします（日頃感じていることを単刀直入に書いてしまいました。申し訳ありませんでした）。お世話になりました。ありがとうございました。

- 行政は行政で大変ですけど、そこが機能しないと市の事業の継続は難しくなっていくので、そこは自覚と責任を持っていただき、どの事業も市としての明確なビジョン・必要性を考えたり、持って取り組んでいただきたい。

- 住民サービスの向上と相まって、費用対効果の意識の向上が必要と思います。

- 今回出席して、市の行政にも関心を持つようになり、議会のほうものぞいてみたいと思います。今日はありがとうございました。

- 私は那珂市の皆さんの税金このように使われているのをはじめて知りました。私と同じように知らない人はたくさんいると思います。このような事業仕分けをたくさんの人に、判定人になっていただいて、今年は２４人でしたが、

来年からはもっとたくさんの人たちに声をかけて行ったらいかがでしょうか。

- 今回かかわった複数の案件で「自治会」という単語が出てきた。しかし、現状では、自治会はコミュニティとして地域をカバーできていない。私の家の半径２００m程度の範囲では、自治会未加入戸数が加入戸数を上回っている。また、地域のコミュニティの構成要素としては、地域にある事業所・店舗等の法人、そこで働く人々も含まれるべきと思う。「協働のまちづくり」を行政が唱えるならば、自治会の枠を超えた新たな地域のコミュニティの構築を主導すべきだ。区→自治会の変更は、名称の変更・行政と地域の中間組織の変更にとどまっている。ターミナルである地域コミュニティの構築は、行政に不可欠であると思う。

- 市行政の各事業の与件が必要では。

- 決定をした判定結果を忠実に実行に移し、事業仕分けの効果を最大限引き出して那珂市の飛躍と発展につなげてください。

- 市長さんはじめ職員の方々が積極的に事業仕分けを実行されていることに、仕事への真摯な姿勢を感じております。行政自ら浄化作業を行っているようで、今まで以上に任せて安心という思いです。これからも市民のために、税金がムダなく使われますよう、透明で安心感のある行政をお願いいたします。それから、事業仕分け関係の職員の皆様、大変お疲れ様でした。そして大変お世話になりました。ありがとうございました。

- ・ひたちなか市より数ヶ月前に引っ越してきました。　ひたちなか市よりも資源ゴミの種類が少ない。ひたちなか市と同じように市民の手を借りてゴミの削減をすべきだと思います。
  ・ゴミ袋の名前を書く意味がわかりません。
  ・ペットボトル回収が有料なのはなぜ？？　ひたちなか、スーパーは無料回収。
  ・ある件で市役所に電話をしました。担当者は親切で教えてくれたのでしょう。”市役所のエレベーターの脇の・・・”市役所に行って、窓口の方に聞けばいいだけの話。親切はありがたいのですが、ご自分が市民から大量のお金を給料として支払われているのを自覚されていないようです。お役人にはもっと高度な作業をして欲しいです。
  ・ひたちなか市でもそうでしたが、自治会ではなく他治会。自ら治める会ではなく、他人に治めてもらう会。
  ・市民判定人の名前を広報で公表してはいかがですか？”あいつがやってるんなら、俺にもできっぺ”と思ってもらえたらいいです。もちろん、公表はいやだと言われる方もいるでしょう。でも、映像には写っちゃっているんですから、諦めてもらうしかないでしょう。
  ・無線でアナウンスが終わった後の、ピーッ、ピーッ、ピーッ　というやかましい音は止めてほしい。あの嫌な音を聞くたびに、防災無線のコンセントをはずそうと思う。もしどうしても、やるのなら、アナウンス前だと思います。終わった後に注意を喚起する音を出しても意味はない。